

～ 地域を支える、生命を守る、未来を育む医療を目指して～

ごあいさつ 一定年を迎えて



岩手県立胆沢病院 院長 勝又 宇一郎

今月いっばいで定年を迎えます。正直なところを申し上げますと心底ほっとしています。みなさんに助けられて、8年間の院長職を何とか全うすることができました。感謝感謝です。

昭和58年に東北大を卒業し、当時の高杉胆沢病院長の魅力と県の奨学金を借りていた関係で、胆沢病院で3年間の初期研修を行いました。研修医時代はコメディカルを含めた多くの方々にとっても可愛がっていただき、充実した日々をとても楽しく過ごしました（病院の野球部とバレーボール部に所属）。その後3年間、東北大呼吸器内科で後期研修を行い平成元年に胆沢病院に戻って来て以来、ずっと胆沢一筋でやって来ました。

もともと病院長という柄ではないのですが（臨床好き／管理職嫌いという性分なので）、2015年に院長職を拝命した際には、なったからには一生懸命やろうと思いました。病院の理念を「愛」に定め、スローガンに「誇りを持てる職場」、「人を育てる病院」、そして実臨床の目標として「救急医療の死守」、「標準医療の提供」、「地域連携の強化」を掲げました。医者同士の行き来や、新型コロナを契機とした仲本保健所長さんの尽力もあり、当地域の連携は確実に良くなってきていると感じています。有機的な連携を築き、少ない医療資源でも最大の効果を発揮できる、効率の良い医療の実現を望みます。

私の医者人生の中で、最も熱く力を入れたのは研修医の教育でした。当院は多くの臨床研修卒業生を世に送り出しています（LINEグループ「胆沢OB」には90名の登録あり）。逆に多くの医師が後期研修を終えて、あるいは専攻医として当院に戻ってきています（現在の常勤医中の当院初期研修OBの割合：15/67）。めちゃくちゃ頑張って「俺が助けた」、と思える患者さんが年に一人二人くらいはいるものですが、膨大な時間と労力を使って助けた患者さんも、歳をとれば必ず自然に亡くなってしまいます。反面、育てた医者は次の世代、またその次の世代へと繋がっていきます。助けた患者よりも、育てた医者、彼らこそが私の生きた証だと思っています。

病院長が交代しても、胆沢病院の文化・病院の色のようなものは決して変わらないと信じています。「断らない救急」、「困っている人・不安になっている人をなんとかしてあげよう」という気持ち、この病院文化の正体は胆沢病院という名前やハードなどにあるのではなく、人というソフト、当院の職員がそれぞれ無意識に心の中に持っている行動原理、あるいは脊髄反射レベル的なものなのだと思います。当院の先輩たちが醸成してきた当院の素晴らしい文化をこれからも皆で綿々と紡いで行ってもらいたいと思っています。

ちなみに来年度も私は理事として胆沢に残ります。外来診療や気管支カメラ・腹部エコーなどの検査を継続しつつ、他の県立病院への外来診療応援を大幅に増やす予定です。土曜日の教育回診やフットサル、野外のバーベキューなど研修医たちとの肌感覚での絡みも続けます。これからも岩手の地域医療に微力ながらも貢献したいと思っておりますので、改めてどうぞよろしくご挨拶致します。どこかで私のことを見かけたらぜひ声をかけて下さい。

当院の放射線治療について 【新しい治療装置の導入】

初めまして。本年1月より岩手県立胆沢病院放射線科に赴任いたしました、福井勝哉と申します。前任地は宮城県立がんセンターで、放射線治療を担当しておりました。

当院の放射線治療部門は、医師1名（+応援）、診療放射線技師5名（治療専門技師3名、品質管理士3名）、医学物理士（非常勤）1名、看護師2名、事務員1名の体制となっております。治療内容としては、肺癌、食道癌、前立腺癌をはじめとした根治照射、乳癌における術後照射、骨転移における緩和照射など幅広く行っております。

2022年度は当院の放射線治療装置の更新が行われました。先代のリニアックONCOR Impression Plus（SIEMENS）に代わってVital Beam（VARIAN）が導入されました。X線・電子線を使用した従来の一般的な外部照射に加え、IMRT（強度変調放射線治療）などの高精度治療も行うことが可能な新型のリニアック装置です。IMRTは高精度治療であり、病巣へより高線量を投与することと副作用の軽減との両立を目的としています。当院ではまず前立腺癌の根治治療におけるIMRTを開始しました。高精度治療では、従来にも増して品質保証が大切になりますが、スタッフ全員で経験を積みながら体制を構築し、適応を拡大していきたいと考えております。

機器の更新に際しては新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢などの影響を受けて当初の予定より納期が遅れ、本年2月の稼働開始となりました。関連する先生方におかれましては、休止期間中のご対応をいただき誠にありがとうございました。地域の患者さんのために最適な放射線治療を提供するためにスタッフ一同精進してまいります。引き続きご紹介のほどよろしくようお願い申し上げます。

放射線科医長 福井 勝哉



岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療（専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療）
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

<病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏内の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180（紹介センター専用）

URL <http://www.isawa-hp.com/>